

### D&Dマネージメント

## 軽貨物運送業へ参入

### B to C領域に注力

自動車にまつわる幅広いソリューション事業を手掛けるD&DグループのD&Dマネージメント(村協学社長、東京都中央区)は、B to C(企業・消費者)のビジネス領域にも踏み出している。4月に新設したラストワンマイル事業部が軽

トラックの販売・リース事業に続き、7月からは軽貨物運送事業への新規参入を果たした。来期中には宅配プラ

ットフォーム事業を開始する計画も進めている。「ラストワンマイル関連の事業化を考えたのは3年くらい前。スポーツ選手の知り合いがいて、第二の働き場所としてトラックドライバーが良いのではないかと考えた」(村協社長)。

軽貨物自動車のリース料などを抑えることで、ドライバーの利益が増大するよう支援。更に、顧客ニーズを把握することを主眼に既存の軽貨物運送事業者を買収し、安定的かつ高品質な宅配サービスの提供にも乗り出している。

販売・リース事業は顧客の希望や要請にきめ細かく対応。リースは期間が1ヵ月〜6年のオーダーメイドのプランを用意している。日産自動車のNV1000クリッパー(新車)を例に取ると、月額リース料(税

別、事業用ナンバーの申請代行費用などを含む)は、1年が4万3100円、3年は2万4千円、5年では1万7千円に設定。受注台数は今期が500台、数年後には2千〜3千台を目指

先月に新規参入した運送事業はドライバー30人体制で立ち上げ、今期中に100台、来期中には300台へと引き上げる構想。まずは東京を中心とする関東をベースに事業展開するが、

業容を段階的に全国に広げていくとともに、行く行くは冷凍・冷蔵ニーズへの対応も視野に入

れる。また、集荷先から配送先への最適ルートを自動計算する「配送最適化支援システム」の営業を開始しているほか、荷主とドラ

イバーをつなぐ宅配プラットフォームをつなぐ宅配プラットフォーム事業を来期中に開始する計画も進めている。

「ニーズにマッチしないビジネスは伸びない。そのニーズを当社が提供していく」と話している。



菊池課長兼デリバリーセンター長(左)とラストワンマイル事業部の桐村大樹主任

(沢田顕嗣)